

The yo University of the Arts

Oil Painting 2022

油画教員 作品紹介

工藤 晴也 [壁画第2研究室 教授]

この作品は、大理石を素材にした舗床モザイクで、2009年藝大美術館で開催した油画教員展『異界の風景』に展示した作品の一部です。

この10数年、人間と自然をテーマにした作品を作り続けている。目を見開いた人間、頭上にはシャクトリムシがいる。人間もシャクトリムシもウィルスも…みんな地球に生きるいきもの達だ。

観察力が劣ることや洞察力のないことをたとえて節穴という言葉がある。庭の樹木を見ていると最初は何も見えないが、しばらくするとたくさんのいきものが蠢いているのに気がつく。保護色で身を隠す虫、砂粒ほどの真っ赤な虫、目に見えない蜘蛛の糸が頬に触れる。それぞれがそれぞれの世界で命をつないでいる。その地球上で最も愚かしいいきものは、戦争をする人間であろう。人間は何を見て生きているのだろうか。何が見えているのだろうか。そして君は、この世界に何を見ようとしているのだろうか。

回廊（部分）

2009

モザイク（Opus Tessellatum）／

大理石、ズマルト、金箔ガラス

幅84.1-145.1×長1480.0 cm

学部4年生集中講義（2021年度油画テクニカルイラストレーター・ジェー・ハンブリーズ先生、ゲスト講師・キース・ウー・ス・ウ・トル先生）



壁画第2研究室 モザイク作品制作の様子（修士2年・山田和樹）



油画技法材料研究室 実習の様子



学部1,2年生選択カリキュラムNo.1+No.2 杉戸ゼミ、西村ゼミの様子



The Tokyo University of the Arts — Oil Painting 2022

東京藝大油画では、美術・造形表現の根幹である「絵を描く」という基礎を踏まえながら、これまでの絵画のカテゴリの枠を超えた表現活動に挑戦する専門家の育成をめざし、学生たちが潜在的に持っている感性と能力を引き出すための実践的な授業を行ないます。多様な表現を参照し、現在活躍しているアーティストや専門家たちとの対話を通して、学生が自主的に研究と創作を行なってアートの活動をつくる機会をプログラムに組み込んでいます。

藝大油画でのさまざまな経験を基に学生たちが世界へと羽ばたき、限りなく変化する世界の中でアートを実践していくことを願っています。



ステンドグラス実習の様子



学部1,2年生選択カリキュラムNo.5 齋藤ゼミ



東京藝術大学

Tokyo University of the Arts

> 美術学部

Faculty of Fine Arts

>> 絵画科油画専攻

Oil Painting Department

小林正人 教授——油画第1研究室 ●
 小瀬村真美 准教授——油画第2研究室
 篠田太郎 准教授——油画第3研究室 ●
 杉戸 洋 准教授——油画第4研究室
 西村雄輔 准教授——油画第5研究室 ●
 薄久保 香 准教授——油画第6研究室
 宮本武典 准教授——油画研究室
 ミヒャエル・W・シュナイダー 准教授——版画第1研究室
 三井田盛一郎 教授——版画第2研究室
 中村政人 教授——壁画第1研究室
 工藤晴也 教授——壁画第2研究室 ●
 齋藤芽生 教授——油画技法・材料第1研究室
 秋本貴透 教授——油画技法・材料第2研究室

●印のついた研究室は、取手校地にアトリエがある研究室となります。

> 大学院美術研究科

Graduate School of Fine Arts

>> 修士課程 | 絵画専攻

MFA Painting Course

〈研究分野〉油画 | 版画 | 壁画 | 油画技法・材料

>> 博士後期課程 | 美術専攻

Doctoral Course in Fine Arts

〈研究領域〉油画

1/2

1年次は、通年の共通課題として、絵画造形全般の基礎としてのドローイングを中心に据えながら、絵画の基礎的要素（イメージ・物質・行為・環境）を提示した基礎実技指導を行なっています。また、壁画実習や地塗実習に取り組み、絵画の発生から技法・材料に関わる基本を学びます。2年次は、1年次で学んだ絵画の基礎的要素の更なる可能性を探っていきます。通年、様々な選択カリキュラムが開設され、学年末には基礎課程の最後として、進級制作を提出します。全教員が進級制作作品を審査し、合格した者が3年次からの「専門課程」へと進みます。



●1 | 学部2年生共通カリキュラムNo.1 ●2 | 学部1, 2年生特設ゼミ (2021年度油画非常勤講師: 岩間賢先生) ●3 | 学部1, 2年生選択カリキュラムNo.3 篠田ゼミ ●4 | 学部1, 2年生選択カリキュラムNo.4 小瀬村ゼミ ●5 | 学部2年風揚げゼミ (2021年度) ●6 | 学部1, 2年生選択カリキュラムNo.1+No.2 杉戸ゼミ、西村ゼミ ●7 | 学部2年生共通カリキュラムNo.1 ●8 | 学部1, 2年生選択カリキュラムNo.10 宮本ゼミ ●9 | 学部1年生講評会 (2021年度)



専門課程においては、学生個々の自主的な創作研究を中心とし、自己の表現とその表現手法を展開し深めるための専門実技指導を行なっています。3年次より「A・B・C・D」の4つのコースに分かれ、より専門的な創作研究を行ないます。また、希望により版画を履修することができます。3年次には、2週間にわたる奈良・京都を中心とした古美術研究旅行があり、古典芸術と出会うことで新たな自己を発見する機会が設けられます。古典から現代にまで続く芸術表現の多様性に応じて、学生が自己の資質を発見し、独自の表現とその表現手段を深化させていく過程が基本的な学部の4年間です。その成果として「卒業制作」があり、その作品制作に4年次の1年間が与えられています。



10



11



12



13



14



15



16

●10 | 学部3年Bコース フォーラム (2021年度) ●11 | 学部3年生学年末展示 ゲスト講師 (ゲスト講師: 荒井良二氏, 2021年度) ●12 | 学部4年生卒業制作学内展全教員講評会 (2021年度) ●13 | 学部3年生古美術研究旅行 ●14 | 学部3年生学年末展示 全教員講評会 ●15 | 学部3年生Aコース課外授業 (2021年度) ●16 | 学部3年生Dコース授業の様子

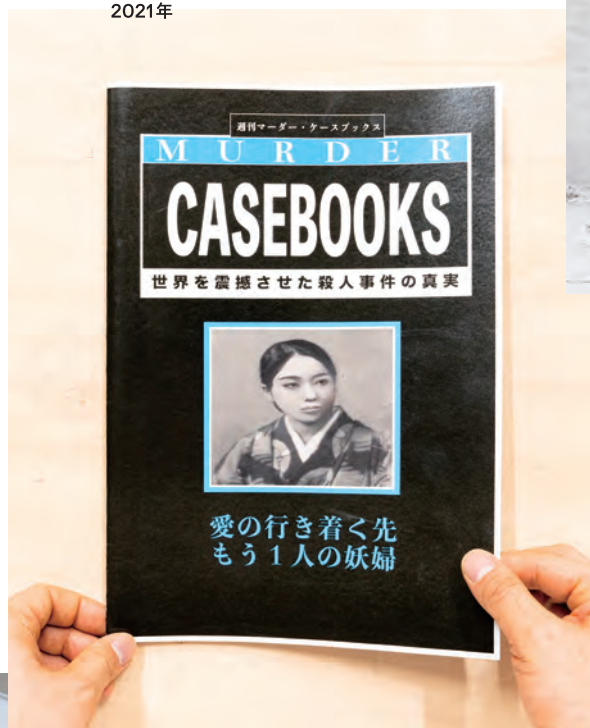
油画の学生作品紹介

※学年の表記は、2021年度時点

荒川真穂 [学部3年]
《恐縮でございやすので私はここで。
ええ、ここで、平気です。本当に、平気です。》
2021年



原 ナビィ [学部2年]
《愛の行き着く先 もう1人の妖婦》
2021年



西永彩七 [学部4年] 《夏見舞い》 2021年



佐藤弥太郎 [学部1年]
《密實洗面機》
2021年



横尾勇作 [学部2年]
《跋扈》
2021年



矢野央祐 [学部1年] 《再構築から解体まで》 2021年



長井美冬彩 [修士2年]
《壊れた時計しか持ってない》
2022年



大町龍司 [学部4年]
《マチルダと
稀に見る近代王子》
2022年

君島英樹 [修士2年]
《ぐるぐるめぐるそしてなる》
2021年



油画の学生作品紹介

※学年の表記は、2021年度時点



日向慶次 [学部4年]
《指を差そう。そこは懐かしい
思い出の中のゆらぎ》
2021年



← 岡田佳祐 [学部3年] 《ランプ》2021年



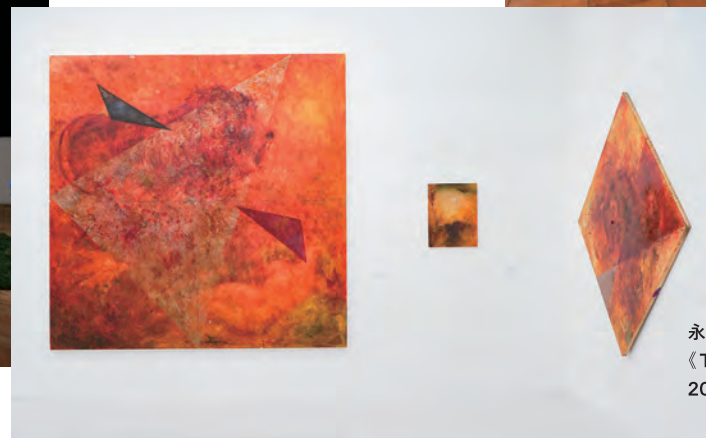
森 ゆらら [修士2年] 《世界平和プロジェクト》2021年



名古屋馬 [学部2年]
《shonbori boys》
2021年



王 之玉 [学部4年]
《鏡像段階∞》
2021年



永山健吾 [学部3年]
《The Call of the Wild》
2021年



杉山日向子 [学部4年]
《V.I.P えもーしょん》
2021年



学部1, 2年生 篠田ゼミ作品

高木京子 [学部3年]
《あなたは、マリファナのように》2021年



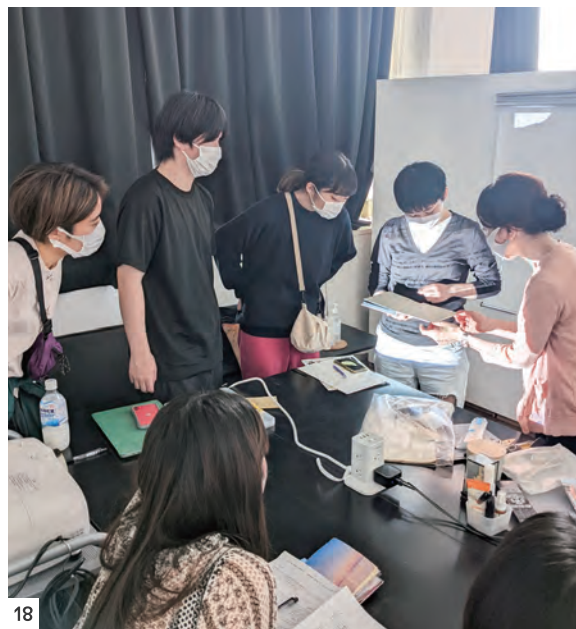
後藤夢乃 [修士2年]
《Re-alchemy of maleficia; peclipsis lunaris,
flos allii, qui stat in sepe.》2021年

花月啓祐 [学部4年]
《幾つかの間合〈習作〉》
2021年





17



18



19



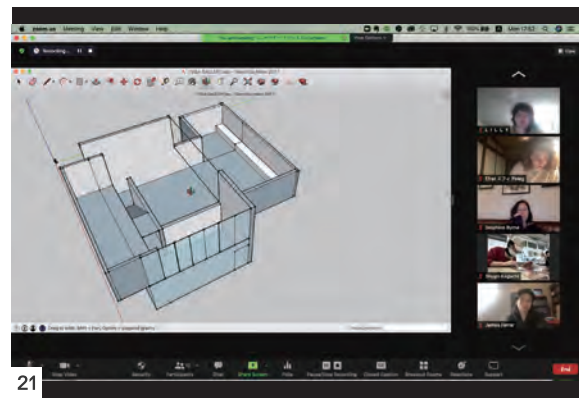
20



22



23



21



24

●17 | 版画研究室集中講義(ゲスト講師:アレクサンドラ・ヤニック氏、2021年度) ●18 | 油画第2研究室 研究室ミーティングの様子 ●19 | 油画第6研究室集中講義(ゲスト講師:新津保健秀氏、2021年度) ●20 | 油画第5研究室 長野県東御市視察の様子 ●21 | 版画研究室 東京藝術大学×メルボルン大学交流プログラム オンラインミーティングの様子 ●22 | 宮本ゼミ(2021年度) ●23 | モザイク・フレスコ過去作品(取手校地) ●23 | 油画技法・材料研究室 実習の様子

大学院美術研究科 修士課程

M 修士課程は、自己の表現領域において更に専門的に創作研究を行ない、社会に対応する独創性豊かな人材を育成するため、各研究室担当教員の徹底した個別指導のもと、独自性を尊重した教育を実践しています。同時に、複数の研究室による共同企画や合同授業によって横断的な連携指導も行なわれています。また、他分野の専門領域の理解を深め、表現内容とその表現手段を、社会と対応する美術表現に結びつける方法を修得するために、学外から数多くのアーティスト、キュレーターや評論家を招き、多角的な側面からの集中講義も開設しています。

●25 | 博士審査展2021の様子 (Zoé Schellenbaum《島の蝕／Eclipse d'une île》、2021年) ●26 | 博士審査展での論文発表の様子 ●27, 28 | 博士審査展講評会 (客員教授:片岡真実先生、2021年度) ●29, 30 | 博士1年生全教員講評会の様子 (2021年度)



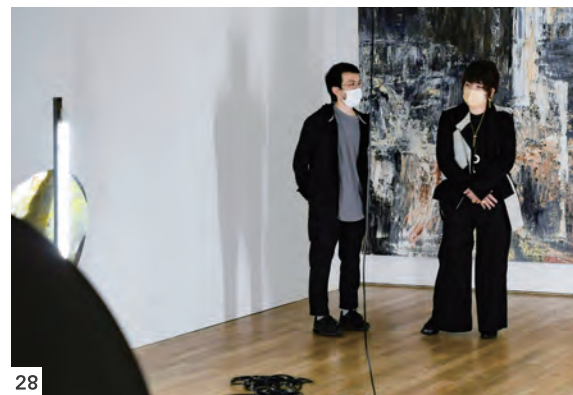
25



26



27



28



29



30

大学院美術研究科 博士後期課程

博士後期課程においては、博士学位取得を前提とし、制作、理論の双方から研究活動を総括するために、担当教員とそれを補佐する複数の教員によって、より高度で総合的かつ複合的なグループ指導が行なわれます。さらには協定校との交換留学や共同プロジェクトにより国際的美術活動を展開し、自己の創作研究活動を社会に向けて発信できる専門家育成のための指導を行なっています。

国際交流 グローバルなシーンへ羽ばたくために

コロナウィルスの影響により、それぞれのプログラムが中止・縮小されていましたが、2022年度より順次再開しております。

国際的なアーティストを
目指すためにチャレンジする
交換留学への取り組み

本専攻は本学開校以来、国際的視野に
立って創造研究を行ない、多数の学生が
海外へ留学しています。近年は国際交流
協定校の増加に伴い、欧米だけではなく
アジアへの留学生も増え、積極的な国
際交流が行なわれています。パリ国立高
等美術学校、ロンドン芸術大学、グリフィ
ス大学、中国美术学院、ミュンスター美
術アカデミーなど、毎年様々な国々との
交換留学、交流展、合同授業、ワーク
ショップ等を国内外で実施しています。

コミュニケーション能力の育成
英語教育の充実

本専攻は独自の英語プログラムを実施し
ており、外国人講師による、アーティスト
として活動するために必要な英語を学ぶ
授業がカリキュラムに組み込まれていま
す。渡航や海外での活動を想定しながら
の実践的な授業内容で、語学としての英
語はもちろんのこと、国を越えてのもの
づくりを想定したコミュニケーションを学
ぶ場となっています。

相互の文化を知り、意識を深める
留学生の受け入れ

国際性と大学院教育の高度化、国際交
流を促進するために、留学生受け入れと
在学生の派遣の拡大を積極的に推進し
ています。これまでに韓国、中国、タイ、
インド、パキスタン等のアジア諸国をはじ
めフランス、ドイツ、オーストリア、アメリ
カ、カナダ、オーストラリア等、多数の留
学生が本専攻に在籍し、様々な国の表
現活動によるコミュニケーションが行な
われています。

挑戦する学生への支援

石橋財団国際交流油画奨学プログラム

本奨学プログラムは、油画の優秀な学生
に対し、夏休み期間などを利用した海外
での研究活動のための資金と渡航費を
援助する、本専攻独自のプログラムです。
学生自らが研究計画を立て実行します。
本学の交換留学制度との併用も可能で
す。帰国後には成果報告展示が行なわ
れます。長期（6ヶ月まで）、短期（2ヶ月
まで）、アーティストインレジデンス派遣
の3つの枠で募集を行ない、毎年10名
以上の学生が採択されます。短期の枠に
は学部2年生から応募できます。

入学料・授業料・奨学金

※入学料、免除・猶予制度、奨学金制度等の詳細は、本学Webサイトの「学生生活」メニューより詳細をご確認ください。

東京藝術大学 <https://www.geidai.ac.jp>



31



32



33



34

●31 | 油画英語学習プログラム Art English Program (2021年度) ●32 | 石橋財団国際交流油画奨学プログラム (2019年度奨学生: 岩崎広大) ●33 | 学部1, 2年生選択カリキュラム No.11 ホーガンゼミ ●34 | 版画研究室 東京藝術大学×メルボルン大学交流展の様子

東京藝術大学
美術学部・大学院美術研究科
油画パンフレット2022

2022年7月7日発行

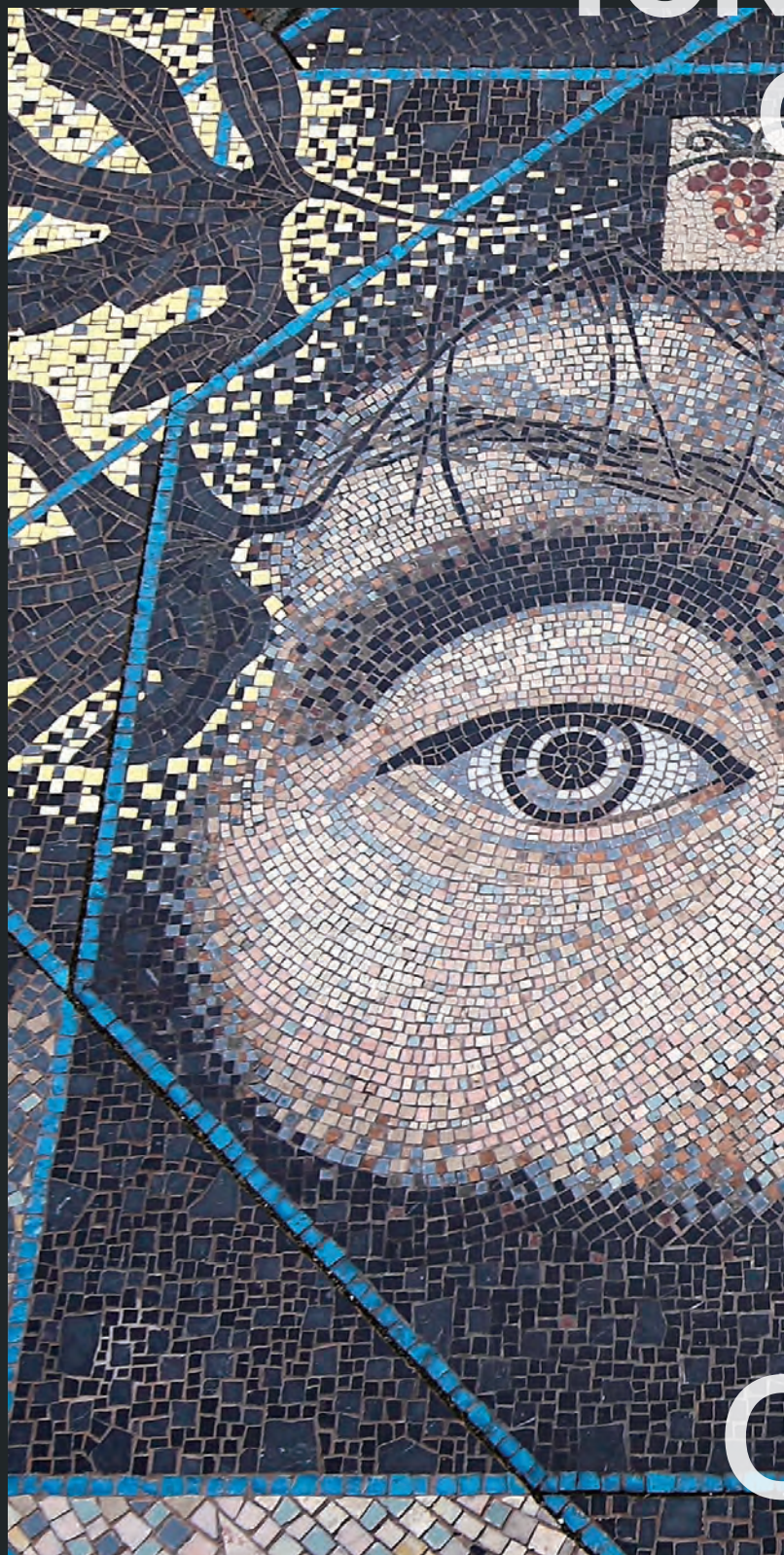
[編集・発行]
東京藝術大学油画
[印刷]
株式会社グラフィック

[お問い合わせ]
110-8714
東京都台東区上野公園12-8
<https://geidai-oil.com>

本冊子に掲載している情報は、2022年6月現在のものです。
本書の複製・複写転載を禁じます。

—
©2022 Oil Painting, Tokyo University of the Arts
Printed in Japan.

Tok



上野キャンパス 絵画棟
〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8



取手キャンパス 専門教育棟
〒302-0001 茨城県取手市小文間5000番地